

## 1 方法 書面開催

※令和5年8月9日(水)の開催を予定していたが、台風6号の影響により不開催となったもの。

## 2 内容

### (1) 先端的研究開発拠点形成に向けた取組

#### ・事業説明

別紙、資料2-1により事務局が内容説明。

#### ・「再生・細胞治療研究センター」

別紙、資料2-2により

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授 高見 太郎 様が内容説明(動画)。

#### ・「医工獣産学連携による医療技術・機器開発拠点構想」

別紙、資料2-3により

山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 助教 西田 周泰 様が内容説明(動画)。

### (2) 成長産業の創出・育成に向けた取組報告

別紙、資料3により事務局が内容説明。

## 3 御意見等

### (1) 議題について

賛同する……16人(全員が賛同)

賛同しない…0人

### (2) 主な御意見(概要)

#### 【成長産業の創出・育成に向けた取組報告】

- ・宇部市の強みである、山口大学、宇部市/山口県、地元企業、金融機関との相互理解と連携を最大限発揮できるよう運営してほしい。
- ・宇部市内には、医学部、工学部、宇部高専等の教育研究機関があり、これらの機関が有する技術シーズをいかに発掘して今後のプロジェクトの選定に結び付けていくか、教育研究機関からの積極的な情報発信とともに、宇部市のリーダーシップにも期待したい。
- ・宇部市には山口大学医学部・工学部、宇部高専があり、隣の山陽小野田市には山口東京理科大学があるという恵まれた環境にある中、スタートアップに関する補助金による支援体制を作った取組は、非常に嬉しく思っている。
- ・医療分野は、宇部市に研究シーズやリソースが特に多く存在しているので、引き続き、山口県産業技

術センターとも連携しながら事業成果に繋げてほしい。

- ・宇部市の成長産業の取組については、全般的に異論はない。あまり実用化を追求すると発展していく可能性を疎外するかもしれないため、このような方向で支援をすることに賛同する。
- ・研究開発シーズの成長段階に応じたシームレスな補助制度が整備されており、また、各種人材育成や次世代研究者等プロジェクト助成等にも取り組まれている。一連の取組に対する宇部市の意気込みが感じられる。
- ・補助金制度を創設されているので、宇部市内の企業様にしっかり認知していただき、新たなイノベーションを創出できるようお願いしたい。
- ・県補助金の自己負担部分を支援する「イノベーション・プロジェクト」については、「自己負担が軽減されるので、思い切って取り組むこととした。」といった声が聞かれている。県補助金に宇部市内の企業が多数採択されていることは、宇部市の成長産業の創出・育成に向けた積極的な取組の成果である。
- ・宇部市との連携により、大学を中心としたアカデミアを盛り上げていきたい。
- ・産業技術センターでも、このような取組を、コーディネータ等を通じPRできるように努めていく。また、これら宇部市の取組が山口県内の他市への先進事例となることを期待する。
- ・県としても、成長産業の創出に力強く取り組まれる宇部市と連携しながら、関連産業の育成・集積や地域経済の活性化に一層取り組んでいきたい。

#### 【先端的な研究開発拠点形成に向けた取組について】

- ・個々の技術などに関する評価は致しかねるが、既に大学と企業間との連携が進んでおり、実績も十分上がっていることや、社会への貢献度も大きいことから、是非、取組を進めていただきたい。
- ・再生医療の分野でかなり具体性を感じた。また、医療技術の拠点を造るという組織構想も、両者とも今後医療分野に必要なものとする。こうした取組が宇部の地で進められることは宇部市の事業として意味がある。
- ・成長産業の育成に向けて非常に有用な内容である。再生細胞治療研究センターの内容については、既に多くの企業との連携がなされており、今後更に発展させ得るテーマと考える。また、医療技術機器開発拠点構想についても、既に多くの企業が共同研究を実施されており、今後、実用化に向けて推進が期待される。
- ・「医工獣産学連携による医療技術・機器開発拠点構想」については、今後、連携する企業や人材が更に拡大していくことを踏まえると、膨大なデータ活用の効率化や生成AI等の活用による研究者支援など、DXも重要な課題となってくる。
- ・「再生・細胞医療研究センター」については、県も立上げの時から機能強化に向けた支援を行っており、今回のプロジェクト化により、再生医療・細胞治療等の実用化・産業化が、より一層加速化することを期待している。
- ・「医工獣産学連携による医療技術・機器開発拠点構想」は、山口県及び宇部市における医療機器の開発が促進されることで、医療関連産業の育成・集積につながるものと期待している。
- ・「再生・細胞治療研究センター」と「医工獣産学連携による医療技術・機器開発拠点構想」の2つのプロジェクトが、今後、宇部市からの補助によりさらに発展し、宇部市における産業創出に結びつく

ことを期待したい。

- ・学生が大学を選択する時代が変わってきている。そういう意味では、山口大学の先端的研究開発拠点形成に向けた取組や、学内横通しの連携協力、産学連携、地域貢献への取組は、大いに評価できる。
- ・山口大学医学部が宇部市にあることで、医療分野を中心に様々な取組が行われ、医学の発展とともに雇用促進や人材育成につながる大切な活動だということが良くわかった。
- ・宇部市の特性からも医療分野における成長産業が育っていく事を期待している。
- ・成長産業分野に新たな種をまき、それを育み、発展させていくことは大変重要なことであり、産官学の連携でこれに取り組むことは大いに賛成である。

#### 【その他の御提案等】

- ・研究開発から実行段階に至るまでには長期間要するのが一般的である。過去の失敗事例としては、単発の支援に終わった、あるいは早い段階から事業性や市場規模に議論がいつってしまった事等が挙げられる。それを防ぐためには、研究開発のマイルストーンを定め、定期的なフォローアップと相互理解が必要であり、金銭的な支援では、行政からの一般財政のみならず、研究開発支援を目的としたクラウドファンディングや寄付等の支援体制が必要である。成長産業育成には長期間要することを覚悟して、ぶれる事なく進めることが必要である。
- ・PR については、山口大学 大学研究推進機構 産学公連携・研究推進センターを利用したら良いのではないか。
- ・再生医療等、社会的意義のある事業については、市の出資が可能であるか検討してほしい。少子高齢化により市の財源が限られている中で、出資も一つの方法ではないか。また、生命に関するものは、市民の理解も得られるのではないか。
- ・ときわ公園実証フィールド活用プロジェクトの（一社）One Smile Foundation の「1 笑顔=1 円」の寄付については、市内の福祉施設等に対して行うこととなっているが、ときわ公園の修繕等に使用できることとしてはどうか。
- ・宇部高専では、本年度、大学改革推進等補助金 高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業に採択され、アントレプレナーシップ教育や社会課題解決などの実践型教育に取り組んでいる。また、起業家工房を設置し、3D プリンタ、レーザー加工機、3D スキャナなどを全学生が主体的に使えるよう整備している。将来的に宇部市とも連携し、起業する学生の育成を図りたい。

#### 4 配布資料

- ・運営委員会委員名簿
- ・先端的研究開発拠点形成に向けた取組（事業説明）
- ・再生・細胞治療研究センター
- ・医工獣産学連携による医療技術・機器開発拠点構想
- ・成長産業の創出・育成に向けた取組報告

資料 1

資料 2 - 1

資料 2 - 2

資料 2 - 3

資料 3